

(別紙様式)

中山間ふるさと・水と土保全対策事業 棚田地域等保全対策事業

事業実施計画

計画期間：平成29年度～令和3年度

計画内容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業計画
3. 事業実施の成果目標と実績
4. 事業評価と対応

鹿児島県

1. 事業実施の基本方針

目標年度	令和3年度
現状と課題	本県は、2つの半島と多数の離島から成り、このような中山間地域では特に過疎化・高齢化が進行し、農業生産活動が行われなくなることにより、国土の保全に資する、生活基盤や自然・文化資源としての役割を果たす公益的機能が著しく低下することが懸念されている。農地や土地改良施設の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域住民の共同活動の活発化を図ることが重要である。
事業実施の基本方針	本県では、「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針（令和2年12月制定）」の『9 農村振興に関する施策』において、中山間地域などの活性化や農業・農村の多面的機能の維持・発揮に向けた施策を展開することが位置づけられており、本計画はこの基本方針に基づき策定する。
計画後の目指す姿	各地域における地域住民活動のリーダーの人材育成及びリーダーを中心とした地域住民活動の活発化を図り、活動計画策定から実践まで、地域住民主体の自立した保全活動等が継続的に実施されるような組織体制作りを目指す。

2. 事業計画

事業（取組）名	事業（取組）内容	達成すべき目標との関連	事業実施要綱上の該当項目	5ヶ年間の事業（量）内容	総事業費（千円）				
調査研究事業	地域住民活動の活性化を通じた土地改良施設や農地の機能の強化・保全に関する基本的対策等の作成及びこれに要する調査。	①	ふる水第3-2-(1)	地域住民による集落点検やワークショップを通じた地域課題の整理、保全活動計画等の作成支援を、年5地区程度実施する。	85,248				
研修事業	上記事業の調査の実施、地域住民活動の活性化に関する推進指導及び助言等を行う人材の育成を行う。	②	ふる水第3-2-(2)	・地域の合意形成手法及び話し合い活動等を通じた地域住民活動の推進方法の取得のための研修会の開催や、農地や土地改良施設の機能保全に係る機能診断、補修技術の習得、指導者としての人材育成研修会を年5回程度開催する。 ・地域住民活動の活性化に関する指導及び助言等を行う人材育成のための全国研修会へ年2名以上を派遣する。					
推進事業	地域住民活動意識向上の普及・啓発。	③	ふる水第3-2-(3)	・農業・農村の多面的機能の理解を促進するための普及・啓発活動として、農村風景等写真展（かごしまフォト農美展）と連携した推進を年1回開催する。 ・学識経験者等から構成される委員会の年1回開催する。					
保全ネットワーク推進事業	都市住民等の保全活動への参加を推進。	③	棚田第3-2-(1)	農村風景等写真展（かごしまフォト農美展）と連携した棚田に係る推進及び学識経験者等から構成される委員会の年1回開催する。	36,872				
保全活動推進事業	住民組織が行う保全活動を推進。	④	棚田第3-2-(2)	住民組織が行う保全活動を推進するための人材育成のための研修会を年1回開催する。					
保全活動支援事業	住民組織が行う保全活動に要した経費等への助成。	⑤	棚田第3-2-(3)	住民組織が行う保全活動を支援する。					
				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
計画事業費(千円)				24,938	25,092	21,689	34,149	32,133	
実績額(千円)				22,927	23,169	20,160	27,756	28,108	
平準化運用基準額(千円)				48,290	48,351	48,413	48,479	48,211	

3. 事業実施の成果目標と実績

達成すべき目標	指標	基準値	目標値	年度ごとの実績					達成度	備考
				平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績		
① 集落点検やワークショップを通じた地域課題の整理や保全活動計画等の作成	支援地区数		5カ年平均5地区以上	5地区	4地区	5地区	4地区	5地区	5カ年平均4.6地区となり概ね達成	
② 施設保全活動等の活性化に関する専門的な知識を有する人材の育成	1) 県内研修会の開催数 2) 全国研修会への派遣		5カ年平均 1) 5回以上 2) 2名以上	1) 8回 2) 4名	1) 9回 2) 4名	1) 7回 2) 2名	1) 5回 2) 中止	1) 5回 2) 中止	5カ年平均 1) 6.8回 2) 2名 となり達成	
③ 農村風景等写真展（かごしまフォト農美展）と連携した推進及び学識経験者等から構成される委員会の運営	1) 農村風景等写真展開催回数 2) 委員会開催数		5カ年平均 1) 1回以上 2) 1回以上	1) 1回 2) 1回	1) 1回 2) 1回	1) 1回 2) 1回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 1回	5カ年平均 1) 1回 2) 1回 となり達成	
④ 住民組織が行う保全活動を推進するための人材育成	研修会の開催数		5カ年平均1回以上	1回	1回	1回	1回	1回	5カ年平均1回となり達成	
⑤ 柵田等保全活動協賛事業活動組織への活動経費の助成	助成組織数		5カ年平均10地区以上	16地区	15地区	16地区	13地区	12地区	5カ年平均12地区となり達成	

4. 事業評価と対応

達成すべき目標	事業実績の評価		備考
	外部有識者の所見	所見を踏まえた改善方針	
① 集落点検やワークショップを通じた地域課題の整理や保全活動計画等の作成	・適切に実施されている。		
② 施設保全活動等の活性化に関する専門的な知識を有する人材の育成	・適切に実施されている。		
③ 農村風景等写真展（かごしまフォト農美展）と連携した推進及び学識経験者等から構成される委員会の運営	・動画、SNS等を活用した、周知の取組	・動画等活用した情報発信について、検討してまいりたい。	
④ 住民組織が行う保全活動を推進するための人材育成	・適切に実施されている。		
⑤ 柵田等保全活動協賛事業活動組織への活動経費の助成	・適切に実施されている。		